

授業科目 運動器系治療学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学
大西秀明, 相馬俊雄, 大山峰生, 田中正栄, 飯田晋, 亀尾徹, 非常勤1名		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【概要】					
運動器疾患に対する理学療法を演習する。					
【学習目標】					
1. 各種運動器疾患に対する治療方法を演習できる。 2. 目的とする筋をストレッチすることができる。 3. スポーツ障害に対する理学療法を演習することができる。 4. 的確にテーピングを実施することができる。 5. 徒手の治療法を実施することができる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・担当教員
1	運動器疾患の治療方法の概要			1	大西
2	腰痛疾患に対する理学療法			1	大西
3	肩関節障害に対する理学療法			1	大西
4	膝関節障害に対する理学療法			1	大西
5	股関節障害に対する理学療法			1	相馬
6	足関節障害に対する理学療法			1	大西
7	肘関節, 手関節損傷に対するリハビリテーション			1	大山
8	手指損傷に対するリハビリテーション			1	大山
9	脊髄損傷に対する理学療法			1	非常勤
10	脊髄損傷のADL			1	非常勤
11	スポーツ障害に対する理学療法Ⅰ			2, 3	田中 (非)
12	スポーツ障害に対する理学療法Ⅱ			2, 3	田中 (非)
13	テーピング			4	飯田 (非)
14	テーピング			4	飯田 (非)
15-19	集中講義Ⅰ (徒手の治療法Ⅰ)	12月24日	5	亀尾 (非)	
20-24	集中講義Ⅱ (徒手の治療法Ⅱ)	12月25日	5	亀尾 (非)	
25-29	集中講義Ⅲ (徒手の治療法Ⅲ)	12月26日	5	亀尾 (非)	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書					
参考書		Orthopedic Physical Assessment, David J Magee, Elsevier Science Health Science div, 2002 他: 後日連絡			
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
実習態度, 定期試験		Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること			